

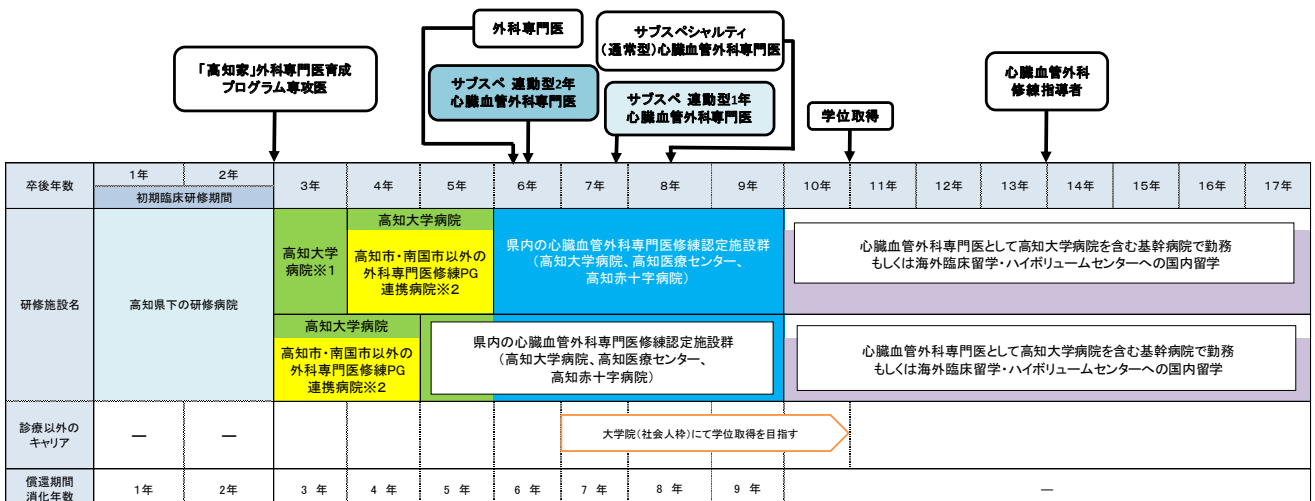
高知大学病院：心臓血管外科修練プログラム

I. プログラムの特色

心臓血管外科治療は手術でほとんどが決まります。手術修練を最優先に掲げますが、人生100年時代を掲げる高齢社会、日本における複雑化する循環器疾患に対して、手術治療だけでなく、予防、啓発、術後経過など患者の一生に関われるような全人的診療を行います。増加し続ける弁膜症や大動脈疾患に対して、ガイドラインに基づいた標準治療だけでなく、胸腔鏡手術やステントグラフト、MICS AVRやMVPカテーテル弁膜症治療などの低侵襲手術を積極的に取り入れ、より質の高い医療を提供し患者のニーズに応じ、地域医療に貢献できる次世代の心臓血管外科医を育成します。

II. 目 標

- 外科専門医を取得後（通常型）あるいは取得予定の段階（連動型1年および2年）より、外科医としての基本的な知識、手技を習得すると共に心臓血管外科領域の専門性の高い臨床的知識および技能の習得を目指す
- 高知大学心臓血管外科修練PGの修練施設群（当院および慈恵会医科大学、愛媛大学、高知医療センター、高知赤十字病院、静岡市立静岡病院、千葉県循環器病センター、静岡県立こども病院）にてより多くの症例を経験し、幅広い治療技能を習得することにより、質の高い医療を提供できる心臓血管外科医を養成する
- 手技（技）はもちろんのこと、患者・家族への対応（心）、さらにリサーチマインドも持つ（体）、academic surgeonを育成する
- 修練の一環として、初期研修医や臨床実習学生の教育を行うことにより、後進の指導能力の向上を図る



※1 希望者には県内の心臓血管外科専門医修練認定施設群(高知大学病院、高知医療センター、高知赤十字病院)での研修も可能。

※2 希望者には1～2年間、高知市・南国市以外の外科専門医修練PG連携病院での研修も可能。